

市の紹介

埼玉県行田市は、東京都心から約60km、埼玉県の北部で、北は利根川、南は荒川の二大河川が流れている肥沃な関東の穀倉地帯に位置しています。

行田市は、国宝「金錯銘鉄剣(きんさくめいてっけん)」が出土した稲荷山古墳をはじめ、日本最大の円墳である丸墓山古墳など、9基の大型古墳が群集する「埼玉（さきたま）古墳群」を有し、埼玉県名発祥の地として知られています。

人口

78,541人 男性：38,906人 女性：39,635人

世帯数

35,916世帯

令和5年7月1日現在



田んぼアートin行田

2023

水田をキャンバスとして、色彩の異なる複数の稲を植え付け、文字や図柄等を表現する取組です。

今年の田んぼアートのコラボレーションデザインは、映画『翔んで埼玉～琵琶湖より愛をこめて～』の登場人物を描いています。近くにある古代蓮会館の展望室から眺めることができます。稲刈りが行われる10月中旬まで楽しめます。



令和3年度 子宮頸がんを予防するための事業

子宮頸がんワクチン接種

○定期接種（小6～高1の女子）

希望者のみ

子宮頸がん検診

○20歳以上の女性
○20歳の女性への子宮頸がん検診
無料クーポン券配布

個別通知

妊婦健康診査の子宮頸がん検診

○妊娠初期での子宮頸がん検診

特定健康診査とがん検診の同時周知

○特定健康診査の通知にがん検診のお知らせを同封

令和4年度 子宮頸がんを予防するための新たな取組

子宮頸がん予防ワクチン ウイルス感染を予防



子宮頸がん検診 早期発見・早期治療

対象者への通知と身近な場でのPR

定期接種対象者への通知 小6～高1の女子へ個別通知
予防啓発ポスターの掲示

市内小中学校、高校、大学、専門学校、公共施設、進学塾、
百円ショップ、市内スーパー、コンビニ、駅、バス等

ワクチン・検診双方の対象者への周知

個別通知の機会を捉えたPR

- ・20歳女性のがん検診無料クーポン券個別通知にHPVワクチン接種の啓発資料同封
- ・キャッチアップ接種対象者への個別通知に子宮頸がん検診の啓発資料同封

病気への理解を深めるために

講演・講話・説明

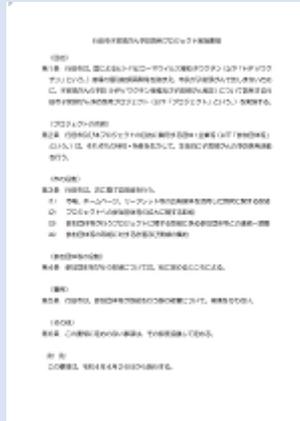
- ・校長会への説明 小6～中3の保護者へ学校経由で通知
- ・児童・生徒等に対する医師による「命の授業・講話」
※動画含む
- ・市民対象のがん予防のための講話

民間企業との協働によるPR

協力協定企業との協働事業

- 明治安田生命保険相互会社との協定に基づく協力依頼
- ・ポスターの協働作成
 - ・保険加入者へのがん検診受診勧奨、ワクチン接種の推奨

子宮頸がん予防事業実施要領等作成



子宮頸がんの予防事業の関係機関

分類	機関名
医療関係	医師会、歯科医師会、薬剤師会
教育関係	市内小中学校、高校、大学、専門学校、進学塾等
商業関係	市内スーパー、コンビニ、百元ショップ
協定企業	明治安田生命保険相互会社
公共交通機関	駅（JR、秩父鉄道）、朝日バス
団体・企業	銀行、郵便局、市内企業、商工会議所、自動車教習所
庁内関係課	健康福祉部（子ども関係、高齢者関係、障害者関係）地域づくり支援課（自治会など）

行田市では、子宮頸がんて苦しむ市民を一人でも減らすため、行田市医師会協力のもと、**子宮頸がんの予防（HPVワクチン接種・子宮頸がん検診）に公民連携で取り組む「行田市子宮頸がん予防啓発プロジェクト」**を令和4年4月から実施



取組の概要

行田市とプロジェクトに賛同する団体・企業・教育機関等※¹が、それぞれの特性・特長を活かして、主体的に子宮頸がんの予防啓発に取り組む※²

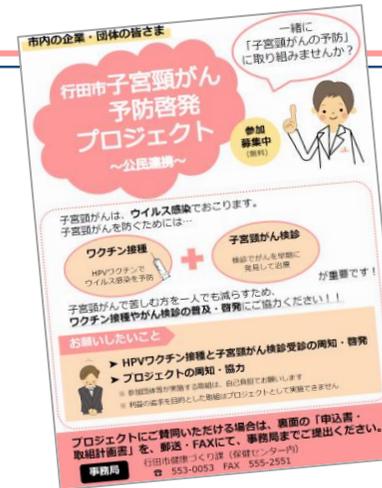
※¹ 57団体等（令和4年9月9日時点）

※² 賛同団体等は「取組宣言（活動計画）」と「取組報告書」を市に提出いただく

令和4年度の実績

取組報告内容

- ポスターやリーフレットの掲示・配布（従業員・家族、患者、生徒、顧客などに向けて）
- 子宮頸がん予防講座の開催
- 子宮頸がん検診などの女性特有ながん検診の受診勧奨など



子宮頸がん予防ワクチン

- 定期接種者延べ数 447人
(令和3年度181人) 266人増加
- キャッチアップ接種者延べ数 531人
(令和3年度0人) 531人増加

子宮頸がん検診

- 令和4年度受診者数 933人
(令和3年度851人) 82人増加

市内の大学におけるHPVワクチン及び 女性特有のがん検診の啓発について



令和5年8月1日

浜松市健康福祉部健康増進課
調整・予防グループ

1

背景

浜松市が実施してきたHPVワクチンに関する啓発

- ・ HPV接種対象者全員にリーフレットの個別送付
- ・ 市の広報誌及びホームページにキャッチアップ接種の案内を掲載
- ・ LINEの友達登録している方へHPVワクチンに関するセグメント配信
- ・ インスタグラム広告を用いてHPVワクチンの啓発
- ・ 企業に向けてがんの予防・早期発見に関する定期的なメルマガの発信
- ・ 健康保険組合の保健師が出席する看護職情報交換会において、従業員への子宮頸がん予防に関する周知・啓発を依頼
- ・ 企業が開催するセミナー等への参加

・・・等

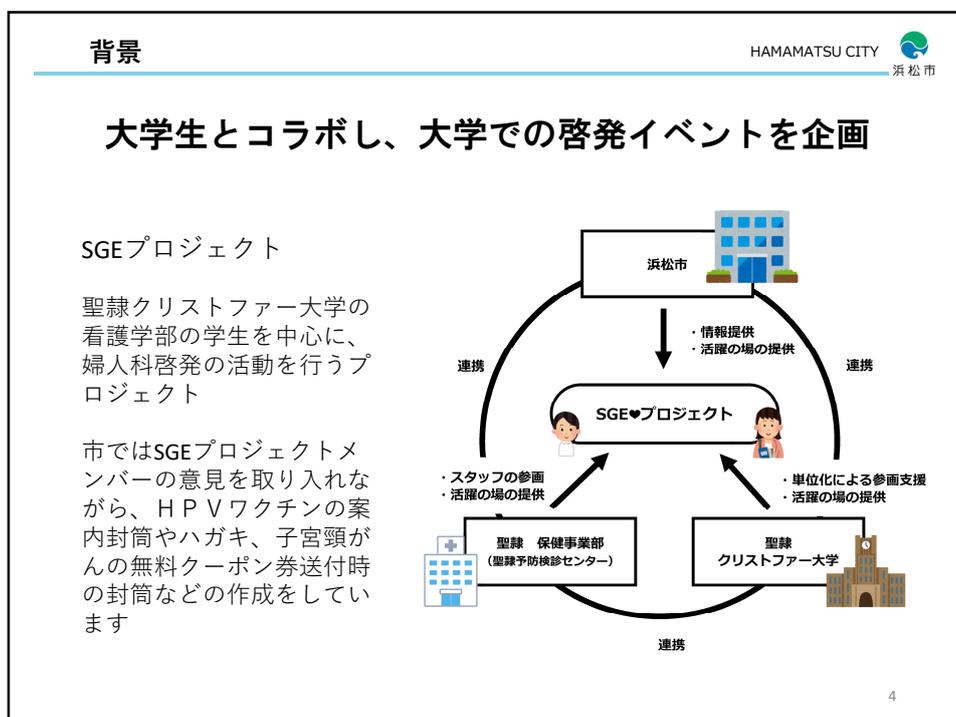
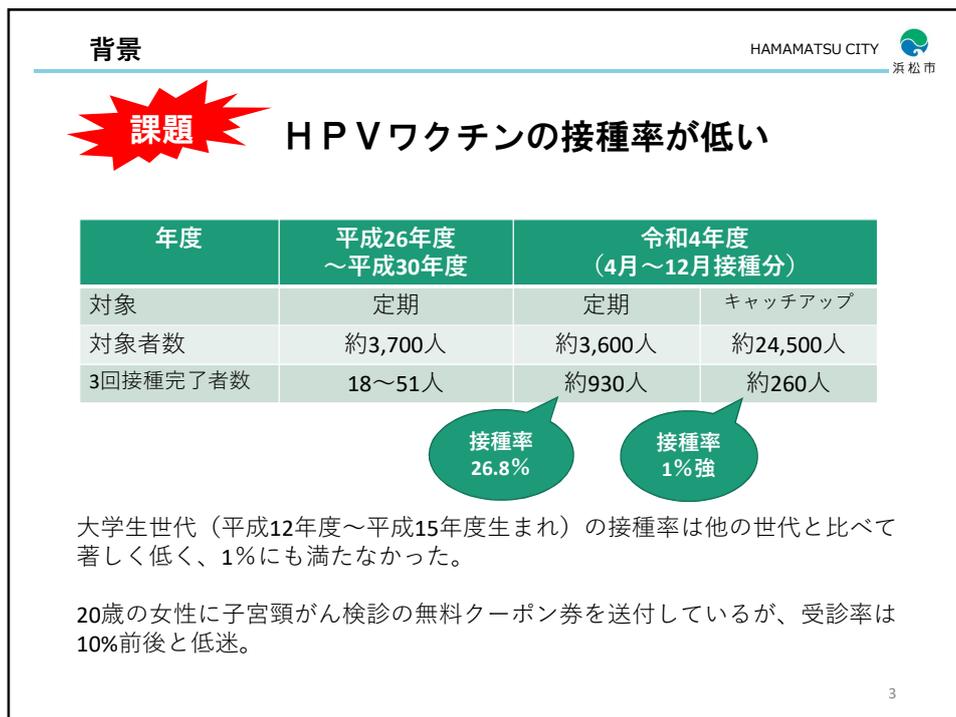


しかし・・・

接種率は低迷



2



イベントの様子

HAMAMATSU CITY
浜松市

食堂入り口のホールに啓発
ブースを設置
リーフレット等を入れた不織布
バッグを食堂に来た学生に配布



5

イベントの様子

HAMAMATSU CITY
浜松市



食堂の一角を借り、
子宮モデルや乳がんモデル
リーフレットなどを設置



6

イベントの様子

HAMAMATSU CITY
浜松市



SGEプロジェクトメンバーが
他校にも赴き、学生に
子宮頸がん予防の啓発を実施



看護学生に実施したアンケート結果

HAMAMATSU CITY
浜松市



- ・個別通知を見たと回答したのは75%、そのうち95%がHPVワクチン未接種であった。
- ・接種しない理由 1位「副反応が心配だから」、2位「接種に行くのが手間だから」、3位「家族や友人が接種していないから」であった。



副反応の懸念の払拭
が喫緊の課題

